

れんけい 第13号

編集・発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局

いつもお世話になっております。アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局です。
ニュースレター「れんけい」の発行が再スタートしました！！是非ご覧ください。

- ◇日時:平成28年7月30日(土)、7月31日(日)
- ◇場所:あづま総合体育館
- ◇参加人数:74名(学生69名、引率5名)
- ◇参加大学(※五十音順で掲載)
桜の聖母短期大学、福島学院大学、福島大学



子どもたちは目をキラキラ
させながら、各ブースで
楽しみました！！



ふくしまキッズ博2016が

開催されました



今年で5回目となる「ふくしまキッズ博 2016」は7月30日(土)・31日(日)に、あづま総合体育館(福島市)において、玩具メーカー14社と福島市内の福島大学・福島県立医科大学・福島学院大学・桜の聖母短期大学の協力により開催され、約3万1千人の福島市内外の家族連れが来場しました。福島市内4校の学生たちは、創作遊びコーナー(小麦粉粘土・スライム・宝探しなど)の企画・準備・当日の運営を担当し、先輩たちが培ったノウハウを活かしつつ、自分たちらしさを盛り込み、加えて来場する幼児たちの安全を考慮した企画を考案しました。さらに、学生たちは多くの人々へ広報するためFacebookを用いた情報発信をし、来場した子どもたちとの視線を合わせて会話をするなど子どもたちとのコミュニケーションを大事にしていました。今後は9月・11月・12月にミニキッズ博を開催する予定です。

森であそんでみよう



「キット森のようちえん-キャンプ-」への参加



森であそんでみようーキット森のようちえんへの参加ーは、今年で4年目となり、参加学生が毎年増加している取り組みです。参加した学生は、毎年5月～11月の間に5回、3歳～小学生の子どもたちと一緒に森の中で季節に合わせた活動（沢遊び・登山・クラフトづくりなど）をし、子どもたちの成長における自然体験の重要性を学びます。学生をはじめ周りの大人は、子どもの興味を大切に、子どもが満足するまで遊びを探求できるように見守ります。学生は、子どもが興味を示したことにさまざまな工夫を加えて展開させながら遊ぶ姿を観察し、大学の保育実習とは違った子どもの姿を学び、自らの子ども観を養いました。この取り組みは、来年度以降、短期集中型の正課の授業とし、単位互換制度を用いて実施することを目指しています。



自然の中で料理に挑戦！
はっぱや木に飾り付けを
して出来上がり♪

◇日時:平成28年8月17日(水)～8月19日(金)
 ◇参加人数:25人(学生22名、引率3名)
 ◇参加大学(※五十音順で掲載)
 郡山女子大学短期大学部、桜の聖母短期大学
 福島大学



発電所見学会

- ◇日時:平成28年8月25日(木)
- ◇参加人数:25人(学生20人、引率5人)
- ◇参加大学(※五十音順で掲載)
会津大学短期大学部、福島工業高等専門学校
福島大学



「発電所見学会 2016」を実施しました！

平成28年8月25日(木)、電源開発株式会社下郷発電所のご協力のもと、20名の学生と5名の教職員(福島大学、会津大学短期大学部、福島工業高等専門学校)が参加をし、「発電所見学会2016」を実施しました。この企画は今年で4年目、7回目の実施となります。

今回は、下郷発電所の上池である大内ダムを見学した後に、発電所の施設に関する概要の説明をお聞きし、さらに発電所の心臓部となる数々の施設を見学させていただきました。

揚水発電所は一昨年にも東北電力第二沼沢発電所を見学しており、電力需要の高い昼間に発電し、余剰気味の夜間に水を上池に汲み上げる運用をしていることを学んでいます。

しかしそれから2年という短期間の間に、太陽光発電の急激な増加により、日中に電気が余剰となり水を下池から上池に汲み上げることがあるということで、当時と現在の間でも常識が様変わりしていることが印象的でした。



アカデミア・コンソーシアムふくしま
福島こどものみらい映画祭 2016

ふくしま映画塾 受講生募集

8月24日(水)～26日(金) 開催決定

今回は日本有数の景勝地裏磐梯を会場に開催します。
松原湖畔に行き、磐梯山を望む高原リゾートホテル「裏磐梯レイクリゾート」を中心に、
雄大な大自然の魅力を体感しながら3日間で映画を制作します。

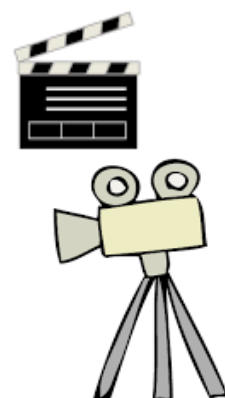
募集人員 **20**名

3日で映画を創る!

ふくしま映画塾

～福島こどものみらい映画祭2016～

- ◇日時:8月24日(水)～26日(金)
- ◇参加人数:29名(学生27名、引率2名)
- ◇参加大学(※五十音順で掲載)
会津大学短期大学部、日本大学工学部
福島県立医科大学、福島大学



ふくしま映画塾 2016 は、8月24日(水)～26日(金)の3日間、裏磐梯を会場に開催されました。この取り組みは、学生が講師の指導を受けながら、3日間で脚本・撮影・編集をして短編映画を製作するものです。参加した27人の学生は3つのグループに分かれて、今年のテーマ「ハーモニー」に合わせて、短編作品の制作に取り組みました。参加した学生たちは、開会式では緊張した様子でしたが、脚本作りを始めると互いに意見を出し合い、真剣な表情で取り組んでいました。講師の方々は、実際に映画製作のプロの視点で、学生たちを厳しく、分かりやすく指導していました。学生はプロの仕事ぶりを目の当たりにて、真剣に仕事に臨む姿勢を肌で感じ、学ぶ貴重な時間となりました。

学生が製作した3作品は、11月6日(土)に白河市文化交流館「コミネス」で開催される「福島こどものみらい映画祭」で学生の手によって上映される予定です。



カメラの練習
そして、本番!



首都圏学生との交流事業

- ◇日時:平成28年8月29日(月)～31日(水)
- ◇参加人数:137名(学生127名、引率10名)
- ◇参加大学 (※五十音順で掲載)

【福島県】

会津大学、郡山女子大学短期大学部、桜の聖母短期大学
東日本国際大学、福島大学、日本大学工学部

【首都圏】

関東学院大学、首都大学東京、上智大学、成城大学
専修大学、津田塾大学、東京大学、東京大学
東京家政学院大学、法政大学、明治大学、横浜市立大学



平成28年8月29日(月)～31日(水)の日程で、福島県広報課が主催する「ふくしまに来て、見て、感じるスタディツアー」が実施されました。この企画は今年初めて実施するもので、アカデミア・コンソーシアムふくしまの会員大学(福島大学、会津大学、日本大学工学部、東日本国際大学、桜の聖母短期大学、郡山女子大学短期大学部)の学生が参加をする首都圏の大学生をアテンドしました。

このスタディツアーでは、福島市周辺、郡山市周辺、会津若松市、いわき市を対象エリアとして、A～Dの4コースが設定されました。それぞれのコースでは本県の学生が当日の引率や現地での説明はもちろん、準備段階の訪問先との調整、交流会などのイベント企画・立案を担当しました。

最終日の31日には福島市内で成果報告会が行われ、スタディツアーを通して立案する持続可能な“ふくしま発信”についての報告をしました。

前半は生憎の台風10号の接近による暴風雨で、一部当日になってからの行程変更が必要となりましたが、それでも各コースのテーマごとに学習を深めると共に、学生間でも絆を深め、最終的に参加した首都圏の学生たちからは自然に「福島にまた来たい!」「福島から帰りたくない!」という声が聞かれるほどでした。

今後、12月4日(日)には首都圏の大学生が首都圏において成果報告会を行う予定となっています。

ふくしまに来て、見て、感じるスタディツアー

■今後の活動予定(9月～11月)

平成28年 9月 15日 (6)

9月17日(土) 第3回福島県中学生ブリッジコンテスト
9月18日(日)、19日(月) 風とロック芋煮会
9月24日(土)、25日(日) 合宿型討論会
10月1日(土)、2日(日) 森づくりWS
10月19日(水) ACF第3回事業推進会議
11月5日(土) ふくしまミニキッズ博(サンドパーク)
11月6日(日) 福島こどものみらい映画祭
11月11日(金)～13日(日) 県庁広報課スタディツアー
11月26日(土)～27日(日) フォレストツアーin いわき



次回発行予定:11月15日

コラム

From: 岩本 正寛



「理由」を問うこと、
答えることを考える

学生が共通ワークシートの自由筆記欄に書く文章を読んでいて、違和感を覚えることがあります。「理由」を尋ねているはずなのに、たとえば「～だから」のような、理由を書き表す文体になっていないのです。それを書いた学生本人も疑問を感じないまま提出しているということがまた、大きな違和感です。

単に作文の力が衰えているのであれば、深刻な問題ではないと思うのです。ところが、これが理由を探求する力の衰えによるものであったら、彼らのキャンパスライフは、好奇心・探究心が満たされるものなのかどうか、大学に進学した意義はあったのかどうかを案じてしまいます。

彼らが学ぶ喜びを感じることでできるよう、理由を尋ねる側の技術も求められるのかもしれませんが、とはいえ大学なのでから根源となる課題として「問う」ことを重ね「理由」を考えることを、すべての学生に求めたいものです。その端緒として、この共通ワークシートの運用ができればと願う、「強い人材」事業の最終年度です。



アカデミア・コンソーシアムふくしま

〒960-1296

福島市金谷川1番地

福島大学 地域連携課内

【電話 ☎】 024-548-5295

【メール ✉】 acf@adb.fukushima-u.ac.jp

【URL】 <http://acfukushima.net/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/ACFukushima/>

お気軽にご連絡ください♪